

社会福祉法人翠燿会

平成 30 年度事業報告書

特別養護老人ホームグリーンヒル
グリーンヒル短期入所生活介護
グリーンヒル居宅介護支援事業
グリーンヒルデイサービスセンター
同上 サテライト南デイホーム
グリーンヒル訪問介護
グリーンヒル福祉タクシー

特別養護老人ホームグリーンヒル八千代台
グリーンヒル八千代台短期入所生活介護
グリーンヒル八千代台居宅介護支援事業
グリーンヒル八千代台小規模多機能型居宅介護
同上 サテライト勝田台
グリーンヒル八千代台訪問介護
グリーンヒル八千代台キッズルーム

障害児通所事業

グリーンヒルキッズ村上
グリーンヒルキッズゆりのき台

自立援助ホーム

グリーンヒル若葉ハウス

八千代市勝田台地域包括支援センター
介護予防支援事業

法人本部総務課

令和元年 5 月

社会福祉法人 翠燿会

この 2 年は、29 年 4 月の社会福祉法改定により、社会福祉法人制度改革が本格的に実施され、30 年度 4 月介護報酬改定により更にサービスの質の確保と経営力が問われる 2 年でありました。

前者は平成 28 年度からの継続した法人の取り組みであり、経営組織のガバナンスの強化、事業経営の透明化の向上（財務諸表・現況報告・役員報酬基準等の公表等）、財務規律の強化（適正かつ公正な支出管理・内部留保の明確化・社会福祉事業等）への計画的な投資等、そして地域における公益的な取り組みを実施する責務であり、法人職員の協力によりまずは順調に進めることができました。*公益的取り組みは別紙のとおり。

後者においては、3 年間経過措置であった地域加算 6 級地から 5 級地への適正運営を中心に、重度化、医療を要する利用者の入所をはじめ、通所介護の運営強化、更なる在宅福祉介護の強化、そして障害児の通所事業の安定などが挙げられますが、職員の頑張りにより一定の方向性を確立し進めることができたと考えます。

共に課題も強く挙げられます。その 1 つが人材の確保、育成、定着対策への一層の強化(職員のキャリアアップ制度充実 研修強化、外国労働者受け入れ等)、そして 2025 年にむけた指針(地域包括ケアシステム)をいかに理解し取り組むかです。

いまだ国が進める方針案と各自治体の取り組み並びに現場の声と乖離がみられ、職員も戸惑うことも事実と考えます。十分にその実態を把握しつつ、検討を重ねながら各事業を進めていく必要があると考えます。

しかしながらその主旨においても、グリーンヒル、グリーンヒル八千代台の 2 拠点が、地域の福祉・介護サービスの中核となり、ご利用者が期待する、在宅を中心としたサービスから施設サービスまでの提供に日々努めることが大切と確信します。

そのためには、この厳しい変化の時代にあって「法人の安定した経営」「ご利用者、ご家族に満足いただけるサービスの徹底」「介護人材の確保と育成」「社会福祉法人の在り方の再構築」を中心に 31 年度も、ご利用者、ご家族、そして地域から信頼される法人を目指してまいります。

なお、詳細なる各事業所の報告は別紙の通りであります。

【平成 30 年度 特養・短期グリーンヒル 事業報告】

1) 目標稼働に対する実働状況

- ・平成 30 年度における特養・短期の年間平均稼働数は、115.7（平均稼働率 96.4%）と前年度よりも 0.3%アップしましたが目標値の 116 には届きませんでした。要因としては短期入所者（ミドルステイ）のご利用者で要介護度 3 の方が多く、長期入所への切り替えが難しかった事が要因の一つに挙げられます。
- ・昨年も同様でしたが日常生活継続支援加算 I は要介護度 4・5 の算定要件において 70% 以上を維持することで現在もなんとか取得出来てはいますが、現在の入所待機者の方々からは算定要件の要介護度 4 以上（70%）、認知症度Ⅲ以上（65%）を満たすことが難しい状況に変わりはなく、グリーンヒル八千代台・病院・行政と連携を図る事で維持しています。

入所申込待機者数は平成 29 年 11 月で 76 件、平成 30 年 5 月で 69 件、平成 31 年 4 月で 72 件と横ばい状態。介護度別では要介護 1 が 2 名、要介護 2 が 2 名、要介護 3 が 20 名、要介護 4 が 23 名、要介護 5 が 25 名の実態としては医療依存度が高い方も多く、要介護 4・5 で特養対象は非常に減少してきています。

- ・認知症専門ケア加算については、平成 31 年 1 月より取得可能となりました。

2) 組織体制の強化

- ・平成 31 年 3 月から嘱託医が変更となり、ターミナルケアを実施している中で主治医不在時の対応については模索中であります。外来受診についてもセントマーガレット病院への受診が難しい時もみられ看護師もその都度思案しながら対応しているところです。
- ・現場スタッフの不足に於いて派遣職員に頼らざるを得ない状況から人件費が増加しており、海外からの留学生や技能実習生を導入している中で職員の教育を充足させていく必要があります。来年度は介護ロボットの導入により人件費の削減に努めていこうと考えています。
- ・利用者の介護計画書については、着実に介護職の努力により作成され、サービス担当者会議等も家族を交えて定期的実施し、多職種連携の形が出来上がってきました。

医務課 事業報告書

上高野医務課

H30年度の新入所者は、25名。

看取りを含め永眠された方は、19名。

1名の平均入院数3、7名。

感染症は、1月にインフルエンザ罹患者6名。

1名を除き1ユニット内での発生にとどめる事が出来たため、早期罹患者の隔離に努める事で、拡大することなく、終結につながったと考える。

また、予防意識も個々に持ち、繰り返し環境整備を、伝えることにより、的確に実施出来たと考える。

今年度は、前年度に肺炎球菌による肺炎の方が、2名発生したため、嘱託医の指示のもと、ワクチン定期（助成）対象者18名を実施する事が出来た。来年度も継続して、積極的に実施していきたいと思う。

看取り、回診については、嘱託医の変更に伴い、戸惑う事も多々あり、1つ1つ確認をしながら、時間をかけて、進めていく必要があると思われる。

慢性的な人員不足により、一部スタッフメンバー（派遣等）の入れ替わりが多く、定着率が、悪かったため、落ち着いて業務を遂行するという点では、十分ではなかったと考える。スタッフ間の関係性の調和に努め、統一した看護を提供出来るよう努力したいと思う。

平成30年度 管理部栄養科 事業実績報告

グリーンヒル栄養管理室 グリーンヒル八千代台栄養管理室

栄養科の理念

- ・ご利用者の健康状態や身体状況に応じた栄養管理(栄養ケアマネジメント)サービスをもつ職種と協力して行い、個人にあったADLの維持・向上に努めます。
- ・ご利用者にふさわしく安全で質の高い食事サービスを提供します。

平成31年度

利用者食事摂取推奨量

(2015年版、日本人の食事摂取基準に準拠)

GH 平成31年 4月1日 現在

エネルギー	1631kcal
蛋白質	61.2g

GH八千代台 平成31年 4月1日 現在

エネルギー	1656kcal
蛋白質	62.1g

平成30、平成31年における入所者の実態

平成30年度 グリーンヒル入所者実績

	男性	女性	平均
入所者	23名	80名	
年齢	81.0歳	86.0歳	83.5歳
介護度	3.7	4.1	4.1

平成31年度 グリーンヒル入所者計画

	男性	女性	平均
入所者	23名	79名	
年齢	80.8歳	85.9歳	83.4歳
介護度	3.7	4.1	4.0

平成30年度 グリーンヒル八千代台実績

	男性	女性	平均
入所者	5名	24名	
年齢	83.4歳	86.7歳	85.1歳
介護度	4.4	4.4	4.4

平成31年度 グリーンヒル八千代台計画

	男性	女性	平均
入所者	3名	26名	
年齢	84.0歳	88.5歳	86.2歳
介護度	4.0	4.4	4.2

平成29、平成30年における食数実績

	食数実績	H30年度	食数実績	H29年度
グリーンヒル	利用者	133620食	利用者	133604食
	職員	12023食	職員	13858食
グリーンヒル八千代台	利用者	51205食	利用者	51231食
	職員	4157食	職員	6291食
合計		201005食		204984食

特定給食施設の管理

フードサービス形態

- クックチル
- A セントラルキッチン

給食業務完全委託方式
A [グリーンヒル特養・通所
グリーンヒル八千代台特養
B 給食業務直営方式
グリーンヒル八千代台・小規模多機能

A方式の帳票類は別途区分管理とする
・災害時発生時、食中毒発生時、マニュアルに準じる
・大量調理施設マニュアルに準じる
・衛生安全管理の維持徹底
・特別な個別膳 調整食(ミキサー食)
・保存食・保健衛生の実施(同居内消毒4回/年・グリスラップ1回/年)
ひまわり院外調理(セントラルキッチン)→小規模施設(サテライトキッチン)
配膳・調理従事者の個人の衛生管理
・備蓄食品(非常用食品)の保管・資料 献立表 (有)

非常用食品の確保

- ・災害対策マニュアル(保有)
- ・天災害時の調理を必要としない食事サービスとして備蓄食品
- ・施設諸行事に伴う食事支援

- ・行事企画内容により別途料金徴収することもある。
- ・個別対応食(やわらぎ膳)は誕生日会費より個別充当
- ・職員、実習生、外来者への予定実施計画

行事食

会議

栄養委員会(給食会議・NCM会議)
・給食会議(食事委員会と調整連絡)
・NCM会議(低栄養者及びケアプラン委員会と合同)

グリーンヒル
定例 第3木曜日 午前9時30分～ 会議室 12回/年
グリーンヒル八千代台
日時不定期 1回/月

栄養ケア・マネジメント

栄養管理

基本方針
I. NCMサービス
4回/年スクリーニング実施
II. 経口維持実施(経口維持 I・II)
(医師・歯科医師による評価者)

①食事調査実施
・食事喫食量・水分摂取量・排尿量記入表
・生活と身体の状況記録(介護・看護・栄養記録)
内容 身体計測、摂取目標量、摂取状況調査項目、栄養アセスメント

- *食事調査評は利用者の共有個別資料とする。
- ②低栄養状態の改善として、栄養計画による
・食事・栄養管理、評価判定を行う。
- ・低栄養状態の改善目標として、栄養強化食品を推奨する。(但し、個別管理品は個別負担とする)

本年度の経緯と考察

- ①教育研修計画
 - ・栄養ケアシステムの向上
- ②所轄の保健所の巡回指導実施
- ③グリーンヒル(CK)とグリーンヒル八千代台(SK)の給食はデリバリー方式、グリーンヒル八千代台
・調理チーム結成(小規模多機能 サテライトグリーンヒル南デイホーム)(H28年4月)
方式(CK)(SK)との業務は分離独自型
供食対象:利用者食・職員食
- ④施設管理栄養士のシフト編成
- ⑤給食栄養利用者向け広報誌発刊
臨地実習実施

- ・看護、介護、栄養の専門性の連携を図った
- ・給食栄養管理の改正に伴う帳票管理 巡回指導の指摘なし
- ・給食経営管理部門として一全面委託化
業務委託、食材料費委託
及び院外調理(ひまわり)を導入した小規模多機能
- ・CKグリーンヒルのイベント、栄養委員会など
グリーンヒル八千代台(SK)と連携・提携区分、分離区分を共有化した
- ・グリーンヒル 8:30～17:30 (2名)
- ・グリーンヒル八千代台 8:30～17:30 (1名)
- “食&栄養”おいしいお知らせ 4回/年
- ・聖徳大学人間栄養学部 3学年

以上

平成30年度 事業報告

グリーンヒル居宅介護支援事業所

1. 目標稼働

- ・ 計画作成者数・・・給付月平均 114 名
総合月平均 28 名
- ・ 認定調査人数・・・118 名
- ・ その他の加算等あり

2. 平成30年度総括

- ・ 平均計画数は給付の方は達成できたが、総合事業は地域包括に返したケースがあり、達成はできなかった。今年も地域包括からの困難ケースや生保の方の依頼が多くありました。
- ・ 認定調査は八千代市をはじめ、船橋、佐倉、他市町村からの調査を受けました。なかなか、他事業所が受けてもらえないと話されていました。
- ・ 情報共有の為に月1回の定例会議と年2回の八千代台との合同会議を開催しました。また、毎週1回、困難事例検討会も開催しました。
- ・ 30年度から事業所加算の取得には他事業所（他法人）と合同で研修（事例検討）を開催しないと加算が取れなくなったので、他事業所と研修を行いました。
- ・ 研修は毎月の定例会議の時に行っています。また、地域包括、ケアマネネット、事業者協議会、他事業所等が開催する研修会に参加して個々のスキルアップに日々努力をしています。
- ・ 法人行事支援も行いました。

平成30年度通所介護(予防)事業報告

1】 30年度利用状況（本体通所介護）

- ・年間を通じて、1日平均利用26名を目標にサービスを行ってきましたが、1日の平均利用者数としては24.5名と目標は達成出来ていない状況でした。新規利用者も20名ほどご利用いただきましたが、前年度同様中止者が多く登録者数としては、減少となってしまった。
しかしながら、30年4月に介護保険の改正があり、改正に伴い利用区分を変更し利用時間を延ばしサービスを行ってきたことから、年間の収入としては、黒字決済ができた。
ただ、今後の課題として年度末に2名の職員の退職があり、利用時間の変更もしてきたことから、次年度の職員体制が厳しい現状ではある為、検討していかなければならない。

（サテライト南デイホーム）

- ・年間の目標として、1日6名を目標として行ってきましたが、1日平均4.7名と、目標を達成することはできなかったが、前年度より増とすることができている。正規職員を配置し、本体デイサービス同様利用区分の変更も行い、数名だが利用者も増やすことができ、南デイホームにおいても、年間通して黒字決済とすることができている。
介護度の高い方や、利用回数の多い方などを獲得できたことが、延べ利用者数の増加に繋がったものと考えられる。

31歳年度の目標・課題

- ・今年度も前年度同様、本体デイ1日平均26名、南デイ1日平均7名を目標に利用者の獲得を目指し、行っていきたいと思います。
職員の退職があり、なかなか厳しい職員体制ではありますが、新しい職員の雇用や、現職員の雇用状況の変更など体制を整えていければと考えています。

平成30年度訪問介護事業報告

【1】30年度の状況

30年度は、月80人目標としていましたが、職員の退職があり11月までの平均実績人数として月65名程度となっています。

12月からは八千代台訪問介護と統合し32名が移行されたため、12月から3月までは平均91名程度となりました。

八千代台訪問介護との統合にあっては、14名の辞退があったものの、大きな問題もなくスムーズに移行できたと思います。

前年同様、新規利用者の受け入れはしつつも、サービス回数の多い方などは、なかなか予定が取れず、受けきれていない状態でした。

目標としていた職員研修の充実については、八千代市・千葉県の訪問介護向け虐待研修を基に行うなど、外部研修も取り入れて行いました。他、毎月1回の定例会議と合わせて行い、具体的内容は別紙の通りです。

【2】令和1年度の目標

今年度においては、登録ヘルパーの年齢問題もありますが、出来るだけ新規ケースの受け入れを行っていきたいと考えます。

八千代台訪問介護の再開が未定ですが、今年度の目標値としては、月の目標を100名として職員全体で取り組んでいきたいと考えています。

八千代台においては、小規模多機能との連携も図り、出来るだけ以前の体制を維持できるようにしていく予定です。

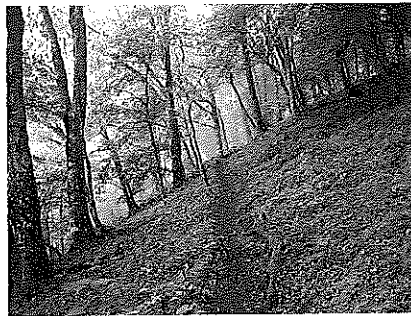
今年度においても、常勤・登録ヘルパーなどの補充を考えたいと思います。毎月行っているヘルパー研修も、実技指導や講義の時間を多く取り、充実させていく予定です。

(別紙1)

研修日時	研修内容
4月27日(金)	30年度事業計画について
5月29日(火)	ヘルパー業務の区分と実際 ・基本サービスと個別サービスについて(身体介護、生活援助) 初回訪問時の心得、サービスに関するルール、記録の書き方 ・サービス提供にあたっての基本的事項 基本姿勢・行動指針・個人情報保護・接遇
6月28日(木)	感染症・食中毒予防について ・感染症とは ・感染症の種類 ・予防するには?? ・生活援助での食中毒予防のポイント
7月30日(月)	高齢者虐待について(八千代市虐待防止研修報告)
8月29日(水)	認知症介護について ホームヘルパーだからできる認知症ケア(へるばる)
9月27日(木)	突然の事故・緊急対応について ・おかしいと感じた場合の確認事項と対応 ・事業所の緊急時の体制について ・災害発生時の対応 応急処置、救命処置について
10月29日(月)	苦情・相談対応について 倫理規定、鍵・金銭管理について
11月28日(水)	介護老人福祉施設における感染防止についての研修報告
12月27日(木)	・事故事例、ヒヤリ・ハット事例の検討 ・苦情、相談事例の検討
1月29日(火)	身体介護研修(事例検討) ・障がい者への支援(精神疾患を持つ方へのケア) ・パーキンソン症状の介護術
2月27日(月)	ノロウイルス対策の具体的方法
3月29日(水)	ヘルパー自己評価

平成 30 年度
事業実績報告書

- グリーンヒルの心
- 一、ご利用者の笑顔を大切に
 - 二、地域福祉のパイオニアたれ
 - 三、学ぶ姿勢を大切に



社会福祉法人 翠 燿 会

高齢者複合ケア施設
グリーンヒル八千代台

： 資料目次 ：

1. 本施設の特徴（地域密着型）について
2. 建物立地等の概要について
3. 高齢者複合ケア施設構成事業所と事業経過について
 - 1) 特別養護老人ホーム（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）
 - 2) 小規模多機能型居宅介護（地域密着型）
小規模多機能型居宅介護サテライト（地域密着型）
 - 3) 短期入所生活介護（一般型）
 - 4) 居宅介護支援
 - 5) 訪問介護（介護・介護予防）
 - 6) 放課後等デイサービス（法人系列事業）

1. 本施設の特性（地域密着型）について

平成18年4月1日改正介護保険法により創設された、※日常生活圏域（グリーンヒル八千代台は、八千代台圏域により指定）という区域で提供される介護サービスで、特に認知症や要介護度の高い高齢者を主たる対象に、住み慣れた地域、自宅での生活を継続できるように支援を目指す制度。

2. 建物立地等の概要について

1) 八千代市について

千葉県八千代市は、千葉県の北西部に位置し、千葉市中央から北に13km、船橋市から東に11kmのところに位置する。地勢は平坦な台地で、標高は高い所で、30m程度、地表は関東ローム層に覆われ、市域の中心部を南北に「新川」（印旛沼放水路）が流れている。市の木：「ツツジ」、市の花：「バラ」、生產品の代表は「梨」。

2) 隣接している自治体について

千葉県習志野市、（習志野第1空挺団、野球・吹奏楽部等活躍する習志野市立習志野高等学校が所在）。

千葉県千葉市花見川区、（県道幕張八千代線を京葉道路方面へ。その先美浜区には、幕張メッセ、千葉ロッテマリーンズの本拠地[ZOZOマリンスタジアム]が所在）。

3) 本施設について

住 所 千葉県八千代市八千代台西 7-2-69

敷地面積 2,148.77㎡

延床面積 2,137.14㎡

建物造り 鉄筋コンクリート造り 3階建

開 設 平成19年10月 1日 : 法人本部施設と同開設日

交 通 電車：京成電鉄「八千代台駅」下車、西口より徒歩7分

車輻：県道幕張八千代線から、右左折30秒弱

住宅環境 八千代台地域は、千葉県の歴史に残る「八千代台団地発祥の地」にあり、住宅都市機構が近年整備したアミティ八千代台等の団地住宅地に隣接。

地 域 西南に「八千代市立八千代台西小学校」、「八千代台中学校」、「八千代台西保育園」が隣接。

買物施設 東習志野には、イオンモール店、八千代台駅西口に「アピア等（旧八千代デパート）」他商店街。八千代台東口には、FMラジオのベイFM78のCM「ユアーエルム」等の商店街が立地する。

3. 高齢者複合ケア施設構成事業所と事業経過について

【1】特別養護老人ホーム（指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）

定員： 29名 完全個室ユニット型

利用： 要介護3から5の介護認定を受けている方

限定： 八千代市に住民票登録のある方（他市町村の住民票登録の方は、利用できません）又、要支援者は、利用できません。

内容： 地域密着型サービス計画に基づき、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭において、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことにより、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを旨とするものであり、常に運営の向上に努めなければならない。

□ 特別養護老人ホーム利用者状況 □

【1】男女別在籍状況（定員29名）（平成31年 3月31日現在）

男 性	女 性	計
3名	26名	29名

【2】年齢別状況（平成31年 3月31日現在）

性別 \ 年齢	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳
男 性	0名	0名	0名	1名
女 性	0名	0名	1名	3名
計	0名	0名	1名	4名
性別 \ 年齢	80～84歳	85～89歳	90歳～	総計
男 性	0名	2名	0名	3名
女 性	3名	7名	12名	26名
計	3名	9名	12名	29名

平均年齢 88.0歳

(男性平均84.0歳)

(女性平均88.4歳)

最高齢 99歳(女性) 最小齢73歳(女性)

平均入所期間 45.1月

(男性平均29.2月)

(女性平均46.9月)

【3】 要介護度別状況

(平成31年 3月31日現在)

性別\区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0名	0名	0名	3名	0名	3名
女性	0名	0名	1名	13名	12名	26名
計	0名	0名	1名	16名	12名	29名

年平均介護度 4.4

【4】 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度) (平成31年3月31日現在)

区分	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
男性	0名	0名	0名	0名	0名	2名	1名	0名
女性	0名	1名	1名	1名	6名	8名	4名	5名
計	0名	1名	1名	1名	6名	10名	5名	5名

【5】 認知症高齢者の日常生活自立度

(平成31年3月31日現在)

区分	I	II	IIa	IIb	III	IIIa	IIIb	IV	M	自立
男性	1名	0名	0名	1名	0名	0名	1名	0名	0名	0名
女性	1名	0名	0名	2名	0名	3名	7名	10名	3名	0名
計	2名	0名	0名	3名	0名	3名	8名	10名	3名	0名

【6】 月別入所者の状況 (平成30年4月1日から平成31年3月31日)

性別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計	0名	2名	0名	0名	0名	0名
性別\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	1名	1名	0名	0名	0名	2名

平成30年度間の入所者数 : 計 6名

【6】 - 2 月別退所者の状況 (平成30年4月1日から平成31年3月31日)

性別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計	2名	0名	0名	0名	0名	0名
性別\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	1名	0名	0名	0名	2名	0名

平成30年度間の退所者数 : 計 5名

【7】 月別平均入所者数 (平成30年4月1日から平成31年3月31日)

(短期入所生活介護含む)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
総数	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	38.9	38.9
月	11月	12月	1月	2月	3月		平均
総数	38.9	39.0	38.9	39.0	39.0		38.9

【8】 月別医療機関への入院加療状況 (平成30年4月1日から平成31年3月31日)

数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院者数		0名	0名	0名	0名	1名	1名
入院日数		0日	0日	0日	0日	14日	13日
数	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院者数		1名	5名	3名	3名	2名	0名
入院日数		12日	60日	70日	96日	32日	0日

入院者延数：16名 入院延日数：297日

【9】 入所前住居状況

(平成31年 3月31日現在)

性別	地区	八千代台東	八千代台西	八千代台南	八千代台北	高津
男性		0名	0名	0名	1名	0名
女性		5名	8名	1名	3名	2名
計		5名	8名	1名	4名	2名
性別	地区	大和田	大和田新田	勝田台	村上	上高野
男性		0名	0名	2名	0名	0名
女性		0名	1名	3名	0名	0名
計		0名	1名	5名	0名	0名
性別	地区	ゆりのき台	萱田	緑ヶ丘		
男性		0名	0名	0名		
女性		1名	1名	1名		
計		1名	1名	1名		

【10】 施設退所者状況 (看取り介護者 4名) (平成31年 3月31日現在)

性別	区分	在宅復帰	長期的入院	逝去	その他	計
男性		0名	0名	1名	1名	2名
女性		1名	1名	1名	0名	3名

【2】小規模多機能型居宅介護（指定小規模多機能型居宅介護）

定員：登録定員29名 1日あたりの通いサービス利用18名

利用：要介護1から5の介護認定を受けている方

限定：八千代市に住民票登録のある方（他市町村の住民票登録の方は、利用できません）又、当事業所の「通い」「泊まり」「訪問」のサービス提供に同意を示された方）、要支援者は、利用できません。

内容：小規模多機能型居宅介護サービス計画により、通いを中心として、
目的 利用者の態様や希望に応じて、訪問や泊まりを組み合わせてサービスを提供することにより、利用者の居宅における生活の継続を支援する。

□ 小規模多機能型居宅介護利用者状況 □

（本体：グリーンヒル八千代台）

【1】男女別利用者状況（平成31年 3月31日現在）

男 性	女 性	計
11名	17名	28名

：登録定員29名

【2】年齢別状況（平成31年 3月31日現在）

性別 \ 年齢	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
男 性	1名	0名	0名	1名
女 性	0名	0名	0名	2名
計	1名	0名	0名	3名
性別 \ 年齢	75～79歳	80～84歳	85～90歳	90歳～
男 性	1名	3名	3名	2名
女 性	1名	5名	3名	6名
計	2名	8名	6名	8名

平均年齢83.8歳 最高齢100歳 女性

最少齢 55歳 男性

【3】介護度別利用者状況（平成31年 3月31日現在）

性別 \ 区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男 性	3名	5名	0名	2名	1名	11名
女 性	6名	3名	3名	0名	5名	17名
計	9名	8名	3名	2名	6名	28名

年平均介護度 2.4

【4】 利用者住居状況

(平成31年 3月31日現在)

性別 \ 地区	八千代台東	八千代台西	八千代台南	八千代台北	高 津
男 性	4名	2名	2名	1名	0名
女 性	3名	2名	4名	5名	1名
計	7名	4名	6名	7名	1名
性別 \ 地区	高津 東	大 和 田	勝 田 台	ゆりのき台	
男 性	0名	1名	1名	0名	
女 性	1名	0名	0名	1名	
計	1名	1名	0名	1名	

【5】 月別利用者状況 (平成30年4月1日から平成31年3月31日)

項 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月末登録者数	29	29	29	29	29	29
訪問週平均	4.3	4.4	5.3	5.4	5.1	5.3
通い週平均	3.0	3.0	2.7	2.6	2.9	2.6
泊まり週平均	0.6	0.7	0.5	0.8	0.6	0.6
利用回数計	914	948	987	1018	998	953
一人当り週回数	7.4	7.4	7.9	8.1	7.8	7.7
新規利用者	1	1	1	1	1	0
中止利用者	1	1	1	1	1	0
平均介護度	2.6	2.8	2.7	2.7	2.8	2.9
項 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	29	29	29	28	29	29
訪問週平均	5.0	4.0	3.7	3.3	3.6	3.9
通い週平均	2.7	2.6	2.3	2.2	2.0	2.1
泊まり週平均	0.7	0.6	0.9	0.9	0.9	1.4
利用回数計	985	870	790	711	749	852
一人当り週回数	7.8	6.7	6.2	5.7	6.5	6.7
新規利用者	1	1	2	2	3	1
中止利用者	1	1	2	3	2	1
平均介護度	2.9	2.7	2.8	2.6	2.7	2.5

月末登録者数 (年度平均) 28.9人
 訪問回数 (年度週平均) 4.4回
 通い回数 (年度週平均) 2.6回
 泊まり回数 (年度週平均) 0.8回

【2】-2 小規模多機能型居宅介護サテライト（指定介護・予防）

定員： 登録定員12名 1日あたりの通いサービス利用 6名

利用： 要支援1・2の介護認定を受けている方

要介護1から5の介護認定を受けている方

限定： 八千代市に住民票登録のある方、又当事業所の「通い」「泊まり」「訪問」のサービス提供に同意を示された方。

内容： 本体（グリーンヒル八千代台）の内容目的に同じ。

目的

□ 小規模多機能型居宅介護サテライト利用者状況 □

（サテライトグリーンヒル勝田台）

【1】 男女別利用者状況 （平成31年 3月31日現在）

男 性	女 性	計
3名	9名	12名

：登録定員12名

【2】 年齢別状況 （平成31年 3月31日現在）

性別 \ 年齢	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳
男 性	0名	0名	0名	0名
女 性	0名	0名	0名	2名
計	0名	0名	0名	2名

性別 \ 年齢	80～84歳	85～90歳	90歳～	総計
男 性	0名	0名	3名	計 3名
女 性	1名	5名	1名	計 9名
計	1名	5名	4名	計12名

平均年齢87.2歳 最高齢95歳 男性

最少齢75歳 女性

【3】 介護度別利用者状況 （平成31年 3月31日現在）

性別 \ 区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	0名	0名	1名	1名	1名	0名	0名
女性	0名	0名	2名	3名	2名	2名	0名
計	0名	0名	3名	4名	3名	2名	0名

平均介護度 2.5

【4】 利用者住居状況

(平成31年 3月31日現在)

性別	地区	勝田台	萱田町	八千代台西		
男性		2名	0名	1名	/	/
女性		8名	1名	0名		
計		10名	1名	1名		

「要支援認定者」の利用により、住居地が点在

【5】 月別利用者状況 (平成30年4月1日から平成31年3月31日)

項	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月末登録者数		12	12	12	12	12	12
訪問週平均		6.8	6.8	7.1	7.4	8.5	8.5
通い週平均		2.4	2.7	2.6	2.4	2.4	2.5
泊まり週平均		0.8	0.9	0.8	0.7	0.8	0.6
利用回数計		484	500	503	534	558	557
一人当たり週回数		9.4	9.4	9.8	10.5	9.7	11.0
新規利用者		1	1	1	1	1	0
中止利用者		1	1	1	1	1	0
平均介護度		1.7	1.8	1.5	1.7	1.9	2.0
項	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数		12	12	12	12	12	12
訪問週平均		9.3	8.1	8.7	9.6	9.1	9.9
通い週平均		2.8	2.4	2.8	2.6	2.6	2.8
泊まり週平均		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
利用回数計		583	509	555	585	560	610
一人当たり週回数		11.5	10.1	10.4	11.0	11.7	11.5
新規利用者		0	1	1	1	1	0
中止利用者		0	1	1	1	1	0
平均介護度		2.2	2.0	2.0	2.0	2.2	2.3

月末登録者数 (年度平均) 12.0人

訪問回数 (年度平均) 8.3回

通い回数 (年度平均) 2.6回

泊まり回数 (年度平均) 0.5回 (本体にて)

【3】短期入所生活介護（一般型）

定員： 10名

利用： 要介護1から5の介護認定を受けている方

地区： 八千代市、習志野市、千葉市花見川区 他

内容： 介護者の冠婚葬祭、休養、外出等 1日から30日の利用等あり

短期入所生活介護の利用者状況

【1】 短期入所生活介護利用者状況 (平成31年3月31日現在)

項 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延日数	333	343	330	341	355	342
項 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延日数	336	366	380	405	340	312

延日数：4, 183日

【4】居宅介護支援

定員： グリーンヒル八千代台への相談者等

利用： 要介護1から5の介護認定を受けている方

介護予防支援事業一部業務委託（八千代台、勝田台地域包括支援センター）

地区： 八千代市、習志野市、千葉市花見川区 他

内容： アセスメント（課題分析）による、ケアプランの作成等居宅支援サービス。

居宅介護支援の利用者状況

【1】 要介護度別支援状況 (平成31年3月31日現在)

項 \ 区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
計	20名	26名	17名	9名	6名	78名

【2】 月別利用者状況 (平成30年4月1日から平成31年3月31日)

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規利用者	5	4	6	0	1	4
休・中止者	6	5	4	2	3	3
区分 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規利用者	3	5	0	0	1	3
休・中止者	4	2	5	5	8	4

新規利用者：32名 休・中止者：51名

年間平均利用者：91.1名

【5】訪問介護

定員： グリーンヒル八千代台への個人、事業所からの相談等

- 利用： 1) 要支援1、2の介護認定を受けている方
 2) 要介護1から要介護5の介護認定を受けている方
 3) 生活保護認定を受けている方

地区： 八千代市内

内容： 地域包括支援センターからの相談、居宅介護支援事業所より相談の居宅サービス計画に基づき、サービス担当者会議で検討されたサービス内容を事業所の提供する「訪問介護サービス計画」を作成し、その計画書に基づき介護サービスを提供すると共に、居宅生活を継続するための支援を行う。

□ 訪問介護の利用者状況 □

【1】 要介護度別支援状況 (平成30年4月1日から平成31年3月31日現在)

項 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護者	21名	23名	24名	24名	23名	25名
新規利用者	1	2	4	1	0	3
休・中止者	4	0	3	1	1	1
総合事業者	20名	20名	19名	21名	19名	19名
新規利用者	0	0	0	2	0	0
休・中止者	1	0	1	0	2	0
項 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護者	22名	21名	休止	同	同	同
新規利用者	0	1				
休・中止者	3	2				
総合事業者	18名	17名	休止	同	同	同
新規利用者	0	0				
休・中止者	1	1				

※平成30年12月1日付け、事業休止中

【6】放課後等デイサービス（法人系列事業）

事業所開設：平成28年3月1日

定員： 利用定員10名 1日あたりのサービス利用10名

利用： 6歳から18歳までの就学児童（障害、療育、精神障害手帳所持者）
市町村の受給者証の発行を受けた方

内容： 放課後等デイサービスガイドラインによって、一人ひとりの個別支援計画に基づき、以下の活動を組み合わせて支援を行う。

- ・自立支援と日常生活の充実のための活動 ・創作活動
- ・地域交流の機会の確保 ・余暇の提供

1) グリーンヒルキッズ

(平成30年4月1日から平成31年3月31日現在)

八千代市村上南1-10-3 G-STARマンション1階B号室

最寄駅：東葉高速鉄道（村上駅）

項 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
契約者数	18名	18名	18名	18名	17名	17名
事業所営業日数	20日	23日	22日	21日	23日	21日
利用回数	199	203	192	206	192	166
新規利用者数	0	0	0	0	0	0
登録中止利用者数	1	0	0	0	1	0
1日平均利用者数	10.0	8.8	8.7	9.8	8.3	7.9
項 / 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	17名	17名	17名	18名	19名	19名
事業所営業日数	22日	22日	21日	20日	20日	22日
利用回数	207	196	174	179	183	199
新規利用者数	0	0	0	1	1	3
登録中止利用者数	0	0	0	0	0	3
1日平均利用者数	9.4	8.9	8.3	9.0	9.2	9.0

契約者数（年度平均） 17.8名

利用回数（年度平均） 191.3回

新規利用者（年度平均） 5名（0.4名）

登録中止者（年度平均） 5名（0.4名）

2) グリーンヒルキッズゆりのき台

(平成30年4月1日から平成31年3月31日現在)

八千代市ゆりのき台3-3-5 AHCゆりのき台第2ビル1階101号室

最寄駅：東葉高速鉄道(八千代中央駅)

事業所開設：平成30年3月1日

定員： 利用定員10名 1日あたりのサービス利用10名

利用： グリーンヒルキッズに同じ

内容： グリーンヒルキッズに同じ

項 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
契約者数	20名	21名	21名	23名	23名	23名
事業所営業日数	20日	23日	22日	21日	23日	21日
利用回数	159	172	178	195	179	175
新規利用者数	14	1	2	2	0	1
登録中止利用者数	0	0	2	0	0	0
1日平均利用者数	8.0	7.5	8.1	9.3	7.8	8.3
項 / 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	21名	22名	22名	22名	22名	24名
事業所営業日数	22日	22日	21日	20日	20日	22日
利用回数	218	208	180	179	172	201
新規利用者	0	1	0	0	1	3
登録中止利用者数	0	0	0	0	0	1
1日平均利用者数	9.9	9.5	8.6	9.0	8.6	9.1

契約者数(年度平均) 22.0名

利用回数(年度平均) 184.7回

新規利用者(年度平均) 25名(2.1名)

登録中止者(年度平均) 3名(0.3名)

【平成 30 年度 事業報告】

グリーンヒル八千代台 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護

1. 目標稼働・施策(平成 30 年度)の達成状況 (○数字は H30 事業計画の原文)

①稼働率 (長期+短期): 「月 38.6 名以上の稼働」「年間稼働率 99%目標」

⇒【達成】月平均 38.9 名 ※年間稼働率 99.95% (前年度より±0)

※長期入居者 (29 名) 男女内訳: 男性 3 名 女性 26 名

※長期入居者 (29 名) 介護度内訳: (介 3: 1 名 介 4: 16 名 介 5: 12 名)

⇒内訳より、男性利用者の減少また重度化の進行がうかがえる。

②日常生活継続支援加算の算定継続 (46 単位/日: ユニット型個室)

⇒【達成】下記要件を算定根拠とし継続。

・新規入所者の内 (前 12 ヶ月) 介護度 4・5 の割合: 70%以上

…年平均 81.2% (長期入所者全体 年平均介護度 4.39)

・新規入所者の内 (前 12 ヶ月) 認知症度Ⅲ以上の割合が 65%以上

…年平均 100% ※認知症専門ケア加算該当者: 全体 86.2% (3 月末時点)

③看取り介護加算の算定継続

(死亡日 1,280 単位/前日及び前々日 680 単位/4 日以上 30 日以下 144 単位)

⇒【達成】別添資料参照。同意書・プラン・経過記録・振り返りを実施。

※多職種全体での PDCA サイクルが確立。

④新設加算の算定

⇒【達成】褥瘡マネジメント加算・夜間職員配置加算の算定

【未達成】排せつ支援加算

⑤サービス担当者会議及び多職種カンファレンスの強化

⇒【達成】サービス担当者会議の実施、介護・看護・機能等、個別計画書の運用が確立。

⑥短期入所生活介護の加算見直し

⇒【達成】H30.4~看護体制加算Ⅰ・Ⅱ、認知症専門ケア加算Ⅱの算定。

H30.11~機能訓練体制加算 (個別含) の算定。

2. 今年度の実績

①介護計画書の運用/新設加算の算定

・看護師、機能訓練指導員、管理栄養士と多職種協働での取り組みを実施。個別計画書 (介護・看護・栄養・機能) を作成し運用することで、その方に対しての対応方法の根拠を見出すことが可能となった。

②実習・体験学習の受け入れ (高校・専門・大学・県新採職・ユニットリーダー)

・介護実習においては、学生に介護の基礎を伝えながら自身の振り返りの機会を。体験学習等に関しては、客観的な意見や質問の中から、介護現場を見つめ直す機会また介護現場へのご理解をいただいている。

3. 次年度の課題

以下の課題（取り組み不十分）が残ったため、目標として継続、発展へ取り組みたい。

- ① 職員間でケアの根拠を理解しチームで共有することができる。
 - ・アセスメント・ケアプラン・24時間シート・介護計画書・各種記録などを多職種で活用し、ケアの根拠を説明することができる。
- ② ユニットケアの基本が崩れ、職員中心の部分が見られてきた。
 - ・その方のサイクルに合わせて同時に、介助における一斉化が進まないよう働きかける事が必要。生活のメリハリを意識し、本来求められる個別ケアに取り組み、持続性を維持することに努める。

以上

H 3 0 年度事業報告書

八千代台 医務課

今年度の新入所者は4名であり、看取りを含め永眠された方は2名であった。昨年度と比較すると入所者数は同じで、永眠者は3名少ない。入院者数は、のべ8名で11月に4名と集中しており、感染症（尿路感染・誤嚥性肺炎）での入院だった。年齢が80～90代と高齢で嚥下機能の低下や、繰り返す尿路感染による入院と考える。毎食後の口腔ケア、おむつ交換時の洗浄の重要性を徹底したい。

インフルエンザ・ノロウイルスの罹患者の発生は昨年度に続き今年度も無く、うがい・手洗いの徹底と環境整備を実施した結果と考える。

他職種との協同に関しては、ユニット会議・委員会への参加し情報共有しケアに努めた。その中でも今まで以上に、PT・OTと共にポジショニングの検討をし、良肢位の保持・褥瘡の予防に努めた。

小規模多機能利用者の医療必要度が上がり、バルンカテーテル挿入者や褥瘡処置を要する利用者が連続する泊りを利用し、医務課での処置を必要とした。退院後の直接利用者では、情報の不足、不明(疑義)な点もみられたので、適切な改善を図っていきたい。

グリーンヒル八千代台 小規模多機能型居宅介護

【平成 30 年度 事業報告】

1. 目標

平成 30 年度の小規模多機能については、目標値である 28 名登録以上については、年間平均 28.9 名（稼働率 99.7%）【29 年度より+0.6 上昇】という数値となった。常に利用者数を意識し、地域のコア拠点として地域において活動することにより稼働は安定化していている。

働き方改革が求められる中、業務工程を洗い出し、見直していくことはますます重要になっており、しっかり洗い出してみると属人化している工程や定型化されている工程などが把握でき、属人化している工程についてはリスクマネジメントの観点で標準化を、定型化している業務は自動化により省力化できる可能性がある。

労働者人口減少で「人不足」は全業種全商圏で続く中で、職員がずっとここで働き続けたいと思うためには、本人が仕事を通じてやりがいと成長を実感できなければならない。そのためには、最短時間で成長してもらえるように、法人として共通した介護サービス基準の確立と徹底、段階的な教育プログラムでバックアップすることが重要で、職員のベクトルを合わせることで利用者への品質担保にも繋がると考え他部門との協働による急務の課題解決が必要である。

また、サービスにおいて「住み慣れた地域社会でその人らしい暮らし」を続けていけるようにすることを目指し、サービスや活動及びそのための基盤整備、並びにそれらが繋がっている状態を作り出す取り組みを行い、取り巻く人間関係などが豊かになって初めて、「その人らしい」と考えられ、自助や互助が機能していることが必要である。地域の互助組織やボランティアなどを支えていく必要があり、支援を必要とする人が求めているものを小規模多機能型居宅介護は住民と共に考え、関わっていくことが今後も重要項目として取り組んでいく。

2. 内容

① 小規模多機能稼働率向上の取り組み

・事業所内の他部署（特養・SS・居宅介護支援・訪問介護・栄養課・キッズルーム）法人本部（特養・SS・通所介護・居宅介護支援など）や勝田台地域包括支援センター、八千代台地域包括支援センターとの多職種連携・協働を強化・実行・連携関係をより強固のものにしていく必要がある。

3. サービス提供について

・重点目標で挙げた中の「地域に密着した生活の支援の提供」については、恒例の行事（餅つきや夏祭り、吹奏楽の演奏会等）では、世代間の交流も出来、地域のイベントに出かけると、声をかけて頂くことも増え、地域の方々共に支えていることが実感できるようになってきている。

・地域の防災訓練や小・中・高での防災寺子屋などに参加させて頂くことも増え地域資源の情報を得られたり、地域の防災への取り組みを知ることが出来たので、事業所の持つ知識・情報を共有していくためにも来年度も地域の皆様とともに歩んでいきたい。

・チーム目標の「サービスの質の向上」については、各会議で意見交換は出来ているが、どんな意見であったのか・課題は何か・その対応策や評価が会議録を続けて見た時にわかりにくく、全体把握に至っていない。

・ICT を活用、記録の効率化や特養と同様の介護記録ソフトを導入、タブレット端末の導入、職員間コミュニケーションツール「LINE WORKS」の導入を行い業務の即時対応等を行なえるように進めている。

小規模多機能型居宅介護サテライト グリーンヒル勝田台

【平成 30 年度 事業報告】

1. 目標

平成 30 年度のサテライトについては、平均介護度 1.9（29 年度より+0.4 上昇）要介護 1~2 中心へのサービスへ移行できている。目標値である年間平均 12 名登録については年間平均（稼働率 100%）という結果となった。予定していたサテライト事業として本体へのケース移行など安定して行なう役目を果たすことが継続的にでき、本体（八千代台）が稼働率 99.7%となり昨年度よりもより一層、本体事業の安定化に寄与する役割が果たせていると考えている。

小規模多機能型居宅介護は「通い」と「訪問」を柔軟に両立させることは利用者にとっては良いサービスだが、現実的には登録人数が少なく融通が効きやすい状態でなければ、その良さは半減してしまうだけでなく、介護業務の資質にも影響が出てしまいやすくなっている。また、想定以上に「宿泊」を希望される方が多く、毎日「泊まる」となると介護度によって収支に違いが出てだけではなく、運営そのものも脅かしかねないこともあり登録者の状況とサービス提供のバランス判断が必要となる。他にも職員の負担という視点では、小規模多機能型居宅介護は業務の幅が広く、その範囲がはっきりとしておらず、即時性・柔軟性を求められ、職員の疲弊が激しい。そのためには介護人材を上手に確保すると同時に、職員をどのような「ステップ・教え方・待遇」で、リーダーへと育成させていくのか、などを法人本部及び他部門と協働で整理する必要がある。高い離職率は採用・教育コストの増加や現場への負担に直結することから、働きやすい労働環境の整備が急がれる。

2. 内容

- ・本体であるグリーンヒル八千代台との連携体制を整えていくと共に、中長期的な要介護状態の重度化への過程を把握することにより本体機能とサテライト機能のインタラクションによりシナジー効果を得て「全体の最適化」「効率化」が発揮された。
- ・「地域の拠点」として、地域になくてはならない事業所となるためには、登録者を自らのサービスだけで支援することだけではなり得ず、小規模多機能型居宅介護の登録者を支えるにも地域の皆様と共に支える必要があり、その地域には多様な課題を抱えている、小規模多機能型居宅介護の専門性が地域にとって必要とされ、地域に根差した事業所を目指していくことにより、地域との相互作用の関係構築に努めていくことにより安定した稼働への取り組み行えてきている。

3. サービスについて

- ・PT,OT と一緒に福祉用具の選定及びリハビリを行なっていくことにより、自宅での生活が変わらず送れるよう支援すると共に、ご利用者の友人宅での食事会に参加するなど、地域との交流が図ることのできる支援を行えた。
- ・地域に向けた手芸教室・料理教室などの活動、地域の方々とのレコードコンサート開催、勝田台アソシエーションギャラリーに利用者作品とサークル作品の展示を行えています。また、サンコーポ自治会員としてゴミ拾いや防災訓練、サンコーポ勝田台主催の餅つき大会などに参加し、地域の方々との協力体制の構築ができています。
- ・サンコーポ自治会メンバーとして住民の皆様と一緒にサンコーポ便り発刊が継続的に行えた。
- ・ICT を活用、記録の効率化や特養と同様の介護記録ソフトを導入、タブレット端末の導入、職員間コミュニケーションツール「LINE WORKS」の導入を行い業務の即時対応等を行なえるように進めている。

平成 30 年度 グリーンヒル若葉ハウス 事業報告

1. 目的

児童福祉法第 6 条の 3、児童福祉法第 33 条の 6「児童自立生活援助事業」として第 2 種社会福祉事業に位置付けられた施設です。就労又は就学する児童に対して社会的自立の促進を目的とする。

2. 内容

- 1) 就労、就学への取り組み姿勢及び職場の対人関係についての相談、援助。
- 2) 地域との連携を深めて地域の理解を得るとともに協力体制を整える。
- 3) 社会生活を営むために必要な力を身につけさせる。
- 4) 必要に応じて心理的な側面からの援助を実施する。
- 5) 職場開拓、就労援助。
- 6) 児童相談所などとの連携による児童の家庭環境の調整。
- 7) 各関係機関との連携を図り児童の支援を強化する。
- 8) 当ホームを退所した後のアフターケア。

3. 開設 平成 31 年 4 月 1 日

4. 定員 女児 6 名

5. 対象児童

義務教育終了から原則 22 歳までの児童であり児童福祉法第 33 条の 6 第 1 項の規定に基づき援助の実施が認められたもの。

6. 職員配置 管理者 1 名、常勤職員 2 名、非常勤 2 名

7. 研修

- ・第 7 回全国自立援助ホーム協議会 新規開設ホーム研修会
平成 31 年 2 月 18 日～2 月 19 日
- ・第 12 回全国自立援助ホーム長研修会・総会
平成 31 年 4 月 22 日～4 月 23 日

8. 内覧会 平成 31 年 4 月 25 日～4 月 27 日

9. 会議

第 1 回職員会議 令和元年 5 月 7 日

10. 令和元年 5 月 15 日現在の利用状況 入所 1 名

- ・柏児童相談所からの依頼があり入所決定する。4 月 30 日入所。若葉ハウスの生活にも慣れ、規則正しい生活を送ることができている。就活には熱心に取り組んでいる。
- ・銚子児童相談所からの入所依頼あり。入所判定会議の結果、入所決定とした。

平成30年度 勝田台地域包括支援センター事業報告書

1. 勝田台地域高齢者状況 (H31. 4月末現在)

勝田台生活圏域人口16,252人 高齢者人口5,612人 高齢化率34.5%
介護認定者数959人 (要支援283人・要介護者676人)

総人口・高齢者人口には大きな増減ないが、介護認定者数は増加している。勝田台の高齢者問題は今後数年が課題と考えられる。

2. 事務所来所者状況

1年間に地域包括支援センターに来所者延べ2,257人。関係機関も含めた実数を数えている。中には頻回に来所される住民もいる。

3. 総合相談事業実績

1年間の総合相談数延べ3310件 (電話1804件・来所962件・訪問467件
その他77件) となっている。主な相談は介護保険や介護に関する相談が多い。また、医療に関する相談も増えており医療機関からの相談も多くなっている。前年より安否確認の相談も増えており独り暮らしの課題も考えられる。相談者は本人・家族・民生委員などが多いが、近隣の方の相談も増えてきている。

また、休日や夜間における対応件数年間56件の実績があるが、当地域包括は、休日や夜間の対応については転送電話対応しており、施設の関係職員の協力もありワンストップとして相談対応してもらっているケースもあり実数は増えていると判断できる。

4. 権利擁護に関する実績

虐待通報11件 (対応延べ数367件) 消費者被害11件 (延べ対応28件) どちらも前年度より増加しており、社会的問題が勝田台圏域でも同様に発生している。

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

○個別地域ケア会議及び生活圏域地域ケア会議実績

- ・民生委員と介護支援専門員・地域包括合同研修会
- ・サンコーポ地域ケア会議
- ・個別ケア会議
- ・ユーアイやちよ勝田台事例検討会

○地域包括支援センター啓発活動

・リーフレット2000部作成し、自治会等の協力のもと配布し包括の啓発を実施。

- ・サンコーポ自治会便りに地域包括を掲載し啓発。
- ・昭和自治会体操教室にて地域包括の啓発

○地域包括が実施した講話

- ・老人会 (銀の四葉会・三四和会・八勝園)

- ・ユーアイやちよ勝田台 オレンジカフェ
- ・勝田台ファミリーハイツ
- 地域住民への企画
 - ・勝田台元気クラブ・八千代高校クリスマスイベント
- 地域の団体の後方支援
 - ・勝田台三世代交流ファミリーフェスタ・サンコーポレコードコンサート
 - ・ふれあいサロン勝田台・お番茶の会・サンコーポカレーの会・ふれあい駄菓子屋
- 6. 介護予防普及啓発事業
 - いきいき教室 15回開催 参加延べ数
- 7. 認知症地域支援・ケア向上業務
 - 認知症サポーター養成講座・・・勝田台の薬局・地域のサークル・八千代高校
ふれあい大学 他
- 8. 第2層生活支援コーディネーター業務
 - 「わがまち元気プロジェクト会議」等を通して地域マップ等を作成、地域関係者の協力を得て住民5000戸に配布。地域の有料ボランティア立ち上げ等
- 9. 介護予防（要支援1・2）プラン作成 実績
 - 1年間国保連請求総数2146件（地域包括639件・委託1507件）
 - 年間新規55件となっている。認定者数も増加しており、年度途中は委託事業所探しに苦慮していたが、地域包括にプランナー配置により現在は解消されている。
- 10. 連携のための会議
 - 運営推進会議
 - ・小規模多機能型居宅介護サテライトグリーンヒル勝田台運営推進会議
 - ・ニチイケアセンター八千代勝田台運営推進会議
 - ・デイサービス元気庵勝田台運営推進会議
 - ・ういず・ユーデイサロン運営推進会議
 - ・ほのぼのデイサービス運営推進会議
 - 民生・児童委員定例会議
 - 八千代市高齢者虐待防止連絡会
 - 八千代市生活支援体制整備事業協議体
 - 地域包括支援センター各専門職会議

平成30年度 総務課 事業報告

総務課

- I 外国人技能実習生受け入れに関して、技能習得を円滑に進めるためにベトナムプロジェクトチーム内で連携しながら取り組む。
また、帰国するまでの日本滞在期間中、安心・安全に過ごせるように生活支援を行う。
- II 経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）に関する、有効活用・経費削減・適正管理を行う。

I ○プロジェクトチーム内の役割分担に基づき、相互連携しながら指導・援助を行う

⇒技能実習生の入職が令和元年7月頃となる見通しがつき、引き続き受け入れ準備を進める。残る2名についても採用活動を継続し早期の採用に結び付ける。

（技能習得）介護技術習得を中心に、法人職員としての規律・マナー等仕事への取り組み姿勢を指導する

・技能実習指導員の選出および指導計画作成・実施

（生活支援）日本滞在中、日常生活における不安を生じさせないように生活環境ほか身体的・精神的サポートを行う

・受け入れ機関への提出書類作成および社会保険加入等の公的手続き

・日常生活に役立つ挨拶や生活にかかわる基本的な単語の編集

・家財・家電・寝具等費用見込み 400,000円

○職員との相互理解を深めるためのコミュニケーションづくりの構築

・文化交流イベントへの参加等（国際交流・地域交流）

⇒平成30年5月のベトナムフェスティバル（代々木）視察実施

II 「資金」の適正管理

○定期的な取引がある業者の取引価格を見直し、適正化を図る。

○サービス事業ごとに毎月の収支状況を把握し、管理運営会議にて明確な報告を行い、適正な経営状態を目指す。

⇒毎月の予算管理・収支状況の把握に努め、管理運営会議で報告検討した。

○財務諸表等電子開示システムを正確に入力する。

⇒福祉会計サービス協力のもと継続して取り組んでいる。

「情報」の有効活用

○HPを活用して法人情報等の発信回数を増やし外部へのPRを強化することで、法人への関心を高め施設利用や職員採用に結び付ける。

⇒2か月ごとにお知らせを更新し情報発信に継続して取り組んだ。

以上

社会貢献の取り組み

- ・更生保護事業の一貫として、千葉保護観察所や習志野八千代地区保護司会の協力のもと車椅子清掃に尽力いただいています。

頻度:3ヶ月に一度 10時~12時 年に3回程度

平成30年度は9月25日・11月27日・2月26日の3回

参加者:保護観察対象者、保護司、保護観察官

- ・平成30年度実習生

東京福祉専門学校 (4名×22日間)

藤リハビリテーション学院 (1名×12日間)

職場体験 順天堂大学・秀明大学(7名×5日間) グリーンヒル特養

地域の高齢者が安心して暮らせるケア支援

- ・心身共に健康である、維持を目指して
- ・地域包括支援の一環として
生活習慣病予防への栄養・健康・医療(実技・実習)のアプローチ
専門家による(講話形式)関心の増加に貢献
- ・各種専門学校、大学生の実習受け入れ教育向上への継続的に実施
地域災害時における備え
行政一身近な住民一施設を通じた各組織間の情報共有網の構築・連携締結
- ・社協、各種団体のボランティア活動を推奨、相互の活性化を図る
- ・社協、各種団体による地域清掃活動に参加
- ・公、私立中学・高等学校の高齢者・介護の理解、関心を意識する体験学習受け入れ、
教育向上への継続的に実施
- ・地域工業団地協議会の会員とし、環境整備・防犯など情報の共有化に努める

栄養課

- ・地域包括主催の民生委員との交流会に参加
交流会に参加することで、その地域の現状がわかり、相談を受けてアドバイスをすることがある。その相談から、ケアマネの依頼につながる事もある。また、民生委員とのつながりができ、情報交換が直接できるようになるので安心につながる。
- ・地域包括主催の勉強会に講師として参加
住民の方の介護の疑問や相談にのり、理解を深めてもらっている。また、いつでも相談に乗れる事を伝え、介護を一人で抱え込まないように話している。
- ・独居の方等の通院への付き添い
ケアマネは相談に乗るのが仕事なので、困っている時は相談にのり、必要時は付き添いもする。

- ・地域住民の方々への相談窓口

病院から福祉相談の窓口として居宅名をあげさせてほしいと依頼あり、問題ないことを伝え、病院内に掲示している。

その他にも常に相談、ケアマネ依頼を受けている。

- ・認知症ケアサポートの講習を受けて地域住民に貢献していきたい。

グリーンヒル居宅

以上

社会貢献の取り組み

令和1年5月15日

高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台

【特養・SS・小多機能(八千代台/勝田台)・居宅支援】

社会福祉法人の責務として

社会福祉法の第一条「福祉サービスの利用者の利益の保護及び地域における社会福祉の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もつて社会福祉の増進に資することを目的とする」

方針 社会福祉法人の責務・法人理念の実現を目指し、施設の持ち得る機能・知識を地域の方々等へ提供していく支援体制の構築

目標 地域住民が主体的にできるように協力[後援]していく

1 料理教室

目的 料理教室では、地域社会の人々が交流を持って頂きながら、健康的な料理と簡単な調理の工夫を通じて、一人でも多くの人々に日常にお役立ちいただくための集いと情報の場を提供していく。

① 勝田台公民館 料理教室

「テーマ」 「簡単調理の工夫と日々の継続」～日常にお役立ち～

主催 勝田台公民館 協力 食街勝田台〔地域サークル〕

実演・協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台(栄養課・小規模多機能(八千代台))

開催日時 9/21・10/19・11/16 10時～12時 (3回) 延べ参加者数 45名

勝田台公民館 担当 下山様 食街勝田台 担当 石川 大澤

グリーンヒル八千代台 担当 小川管理栄養士 岡田サブリーダー 大竹

② 食街勝田台料理教室 (2015年より毎年協力)

「テーマ」 「簡単・お手軽・時短調理」～1つの食材から何品も～

主催 勝田台食街サークル 後援 勝田台包括支援センター

実演・協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台(栄養課・小規模多機能(八千代台))

開催日時 5/18・6/15・7/20 10時～12時 (3回) 延べ参加者数 45名

食街勝田台 担当 石川 大澤 グリーンヒル八千代台 小川管理栄養士 高柳 大竹

③ 「勝田台親子料理教室」(2017年開催)

目的 事業計画に掲げた「包括ケアシステムにおける地域拠点として地域の安心拠点としての役割を果たしていくための地域活動」の実施

主催 NPO法人じも to あい

実演・協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台(栄養課・小規模多機能(八千代台))

開催日時 4/24 10時～12時 延べ参加者数 4名〔親子〕

グリーンヒル八千代台 小川管理栄養士 高柳 大竹

2 学校 福祉教育

① 高校生の福祉体験

主催 千葉県立八千代高校 後援 社会福祉法人八千代市社会福祉協議会

協力 勝田台地域包括支援センター グリーンヒル通所介護 小規模多機能(勝田台)
特別養護老人ホーム グリーンヒル八千代台

日時 平成30年11月12日 13:25~15:15

会場 八千代高校 体育科 2年生 校舎にて

内容 1年 車いす体験・アイマスク体験 41名 (八千代市社協 土田・斎藤・八巻)
2年 高齢者疑似体験・介護教室 41名

グリーンヒル八千代台 日高・倉田 OT・玉井・花島・吉村・大竹・グリーンヒル 藤部柔道整復師
「高齢者疑似体験キットで高齢者の体の変化を体験し、

高齢者に負担のない介助の方法について学習する。」

講義 30分 (PC・プロジェクター使用) 疑似体験 6体 6グループ 体験(1人15分)

3年 認知症サポーター養成講座 39名(勝田台包括)

② 福祉教育推進校公開授業「防災教室」並びに「高校生等防災教育基礎講座」

主催 千葉県立八千代西高等学校 後援 八千代市社会福祉協議会(睦支会・萱田支会)

日時 平成30年12月18日 9:00~11:30

会場 八千代西高等学校

内容 要支援者の避難誘導 視覚障害者体験 高齢者疑似体験 車いす誘導(階段昇降)
壇上にて車いすの使用説明・階段昇降介護のデモ及び学生への指導及び補助を実施
生徒550名 教職員40名 地域関係30名(地域新聞・万葉建設等)

協力 阿蘇・睦地域包括支援センター はなみずき オーケーサービス 愛生苑
高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 大塚PT 倉田 OT 大竹

③ 防災寺子屋

主催 八千代市立八千代中学校 後援 八千代市社会福祉協議会(八千代台圏域各支会)

日時 平成30年5月25日 9:00~12:00

会場 八千代中学校 1年生(約80名)

内容 八千代台地域の防災マップを自分達で作る

協力 小学校通学見守り隊 小規模多機能型居宅介護 上園 三森

④ 防災教室

主催 八千代市立八千代台西中学校 後援 八千代市社会福祉協議会(八千代台圏域各支会)

日時 平成30年9月6日 9:00~12:00

会場 八千代市立八千代台西中学校 (約80名)

内容 避難所になった時の対応 (トリアージ・各設定による避難誘導)

協力 小規模多機能型居宅介護 花島 上園

⑤ 視覚障害者の体験と介助について

主催 八千代市立八千代台西小学校 後援 八千代市社会福祉協議会

日時 平成30年11月30日 9:30~12:15

会場 八千代市立八千代台西小学校校庭 4年生(約75名)

内容 アイマスク着用による視覚障害の体験と盲導犬ユーザーの講和

協力 全国盲導犬協会 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 大塚PT 倉田OT 上園

3 サンコーポ勝田台自治会 餅つき大会 (2012年より毎年協力)

日時 平成30年12月2日 8:30~12:30

場所 勝田台幼稚園 園庭

主催 勝田台サンコーポ自治会 (歳末助け合い募金運動)

参加者 サンコーポ勝田台にお住いの方々

協力 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 小澤施設長 日高 吉村 花島 白土 大竹
勝田台地域包括支援センター 武田センター長 グリーンヒル通所介護 南

4 八千代市立八千代台西小学校 資源回収(2018年より)

目的 八千代台西小学校が資源回収行っていることから当施設でも新聞やチラシ・雑誌等がゴミとして出ている現状であり、地域の「ゴミ減量運動・再生資源回収」活動に参加する。

回収日 毎月 第3水曜日

高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 特養・SS・小規模・居宅

5 グリーンヒル八千代台お餅つき大会 (開設時より開催)

目的 年末恒例イベントとして開催し、地域の方々の交流の場として提供していく。

日時 平成30年12月28日 13:30~15:00 協力 阿武松部屋 力士

場所 グリーンヒル八千代台 ピロティー及び地域交流室

参加人数 約350人 利用者様86名 地域の方々・八千代台西学童保育及び八千代台西保育園

協力 八千代台西北支会、阪様、吉垣様 小日向様 小野尾様

6 グリーンヒル八千代台 夏まつり (開設時より開催)

目的 夏の恒例イベントとして開催し、地域の方々の交流の場として提供していく。

日時 平成30年8月8日 10:30~12:30

場所 グリーンヒル八千代台 ピロティー及び地域交流室

参加人数 約300人 (利用者様88名 地域の方々・八千代台西学童保育及び八千代台西保育園)

協力 八千代台西北支会、阪様、吉垣様 小日向様 小野尾様

中央介護福祉専門学校学生の皆様、オーケーサービス様、(株)八洋様、(株)安宅様

7 八千代台北東支会 車椅子操作講習会

主催 八千代市社会福祉協議会 八千代台北東支会 福祉委員(20名)

日時 平成31年2月2日(土) 14:20~15:20
場所 八千代台北東自治会館
内容 車椅子操作・介助について
協力 特別養護老人ホームグリーンヒル八千代台 倉田 OT 大塚 PT

8 GHY地域サークル (2015年5月より)

目的 地域のお一人暮らしの方、閉じこもりがちの方など地域交流や趣味活動の一つとしてつるし飾り(ざるぼぼ)を中心に開催

主催 小規模多機能型居宅介護 サテライトグリーンヒル勝田台 日高 花島

日時 毎月第4土曜日 10時~12時

開催 勝田台サンコーポD棟 集会室 参加者数 16名

協力 斎藤由美講師 勝田台地域包括 武田センター長 南デイホーム 菅野

9 勝田台駅前清掃活動 (2015年より参加)

目的 多くの方が利用する駅前をきれいにしたいという思いから、40年前に京成勝田台駅前にあるサンコーポ自治会がクリーン推進部をつくり月1回の清掃を行なっています。「健康・家計・住居者交流」3R活動を積極的に取り組んだことが評価されH30.11 県内初「環境大臣賞」を受賞。

日時 毎月第3日曜日(雨天中止) 9:00~9:30

場所 勝田台駅前から商店街(サンコーポ勝田台A棟~F棟)・花壇など

主催 サンコーポ自治会クリーン推進部 サンコーポ勝田台住居者 毎回 15名

協力 小規模多機能型居宅介護 サテライトグリーンヒル勝田台 花島 辻内 久下

10 園芸教室(地域開放講座)(2018年より)

主催 NPO法人 園芸療法勉強会 後援 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 担当 吉村

講師 NPO法人 園芸療法勉強会 園芸指導部長 八田 隆英

日時 月1回(第4火曜日) 13:30~15:00

場所 グリーンヒル八千代台 地域交流室 定員 20名/回(ご利用者及び地域の方々)

11 フラワーアレンジメント教室(地域開放講座)(2010年より)

主催 calm フラワーアレンジメント教室

後援 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 担当 吉村

日時 年4回(3月、5月、10月、12月) 14:00~15:00

場所 グリーンヒル八千代台 地域交流室 参加人数 10~15名/回(ご利用者及び地域の方々)

12 レコードコンサート(大人の学校メソッド) (2017年より)

主催 小規模多機能型居宅介護 サテライト グリーンヒル勝田台 担当 吉村

解説 中原 美明 岡本 哲夫 後援 勝田台地域包括支援センター

日時 年1~2回(H29.3 H29.7 H30.5 H30.10 H31.4) 13:00~15:00

開催場所 サンコーポD棟 2階 集会室 参加人数 30~40名/回（地域住民の方々）

13 勝田台元気クラブ

主催 勝田台地域包括支援センター

協力 特別養護老人ホームグリーンヒル

高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 小柳NS 小川管理栄養士

日時 月1回（第3金曜日） 13:30~15:00

場所 勝田台文化センター 参加人数 30名/回

14 八千代台元気クラブ（2011年より）

主催 小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台 担当 上田 白土

日時 毎週水曜日 13:30~15:00

場所 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台（2階さくら部屋）

内容 編み物 絵手紙等 参加 地域の方々 定員7名/回

15 すばる 将棋教室（2016年より）

主催 八千代市社会福祉協議会 八千代台西北支会

日時 毎月第3土曜日 10:00~12:00（8月10月は除く）

場所 グリーンヒル八千代台 地域交流室 参加人数約30名/回

内容 活動場所の提供

16 勝田台支会 八千代台西北支会（2018年より）

主催 八千代市社会福祉協議会 地域振興課

活動 年2回 福祉推進員として参加 小澤施設長（西北支会） 日高（勝田台支会）

17 高齢者複合ケア施設 グリーンヒル八千代台 壁面絵画（5年周期 3回目）

目的 五年周期で地域の方々に壁面絵画制作を行って頂き、親しみやすい施設として地域資源のしとつとして知って頂く。

場所 グリーンヒル八千代台正面入り口横

協力 八千代市社会福祉協議会 八千代台西北支会 絵画教室（すばる） 広沢栄治先生

すばる絵画教室の子ども達、八千代台西中学校美術部 参加者（約100名）

壁面絵画作成期間 平成3月21日・22日・23日・24日・25日

グリーンヒル八千代台担当 日高 小川 大竹

18 サンコーポ勝田台 自治会便り発刊（2018年より）

発行 サンコーポ勝田台自治会 発刊 毎月1日 部数400部

内容 自治会メンバーが書いた記事を頂き、発刊物のレイアウト及び編集・印刷作業を協力

協力 小規模多機能型居宅介護 日高 花島 大竹

19 職場体験学習 (2015年より)

日時 平成30年6月13日(水) 9:00~15:00

対象 八千代台西中学校 2年生 生徒2名

内容 職場体験学習を通して、子どもたちの望ましい勤労観や職業観を養う

20 実習・研修・体験学習生等受け入れ(養成学校・大学・千葉県職員・特養職員対象)

① 松戸向陽高校(介護実習) (2015年より受入開始 毎年2~6名の受入)

3学年

期間: 6月1日~6月22日(計15日間)、10月1日~10月22日(計15日間)

受入部署: 小規模特養

人数: 2名

2学年

期間: 11月2日~11月22日(計15日間)

受入部署: 小規模特養

人数: 2名

1学年

期間: 7月24日~7月26日(計3日間)

受入部署: 小規模特養

人数: 2名

平成30年度 延べ受入日数: 48日間 延べ受入人数: 6名

受入開始時~ 延べ受入人数: 約15名

② 中央介護福祉専門学校(介護実習) (2013年より受入開始 毎年2~10名の受入)

A実習

期間: 6月18日~6月28日(計8日間)

受入部署: 小規模多機能

人数: 2名

B実習

期間: 11月5日~12月4日(計17日間)

受入部署: 小規模特養

人数: 2名

C実習

期間: 6月1日~7月6日(計21日間)

受入部署: 小規模特養

人数: 2名

D実習

期間: 9月25日~9月27日(計3日間)

受入部署: 小規模多機能

人数: 2名

期間: 11月19日~11月21日(計3日間)

受入部署: 小規模多機能

人数: 1名

延べ受入日数: 52日間 延べ受入人数: 9名

受入開始時~ 延べ受入人数: 約50名

③ 県立保健医療大学（看護実習）（2010年より受入 毎年2～3名の受入）

期間：7月26日（計1日間）

受入部署：医務課

人数：3名

延べ受入日数：1日間 延べ受入人数：3名

受入開始時～ 延べ受入人数：約25名

④ 東京成徳大学（相談援助実習）（2015年より受入 毎年1～2名の受入）

期間：8月27日～9月26日（計23日間）

受入部署：小規模特養、小規模多機能、居宅介護支援、勝田台地域包括支援センター

人数：1名

延べ受入日数：23日間 延べ受入人数：1名

受入開始時～ 延べ受入人数：7名

⑤ 義務教育教員免許志願者に対する介護等体験学習（2016年より受入開始 毎年25名前後の受入）

1グループ

期間：6月11日～6月15日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

2グループ

期間：6月25日～6月29日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

3グループ

期間：7月9日～7月13日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：1名

4グループ

期間：8月6日～8月10日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

5グループ

期間：8月20日～8月24日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：1名

6グループ

期間：9月3日～9月7日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

7グループ

期間：9月10日～9月14日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

8グループ

9月24日～9月28日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：1名

9グループ

期間：10月1日～10月5日（計5日間）

受入部署：小規模特養

人数：1名

延べ受入日数：45日間 延べ受入人数：19名

受入開始時～ 延べ受入人数：約60名

※体験学習対象：秀明大学（14名）、日本大学（1名）、順天堂大学（1名）、千葉大学（1名）
二松学舎大学（1名）、青山学院大学（1名）

⑥ 新採職員研修に係る体験学習（千葉県）（2015年より受入開始 毎年25名前後の受入）

Aグループ

研修日：10月3日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Bグループ

研修日：10月4日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Dグループ

研修日：10月10日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Eグループ

研修日：10月11日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Gグループ

研修日：10月16日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Hグループ

研修日：10月17日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Jグループ

研修日：10月22日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Kグループ

研修日：10月23日

受入部署：小規模特養

人数：3名

Lグループ

研修日：10月24日

受入部署：小規模特養

人数：2名

Mグループ

研修日：10月25日

受入部署：小規模特養

人数：3名

延べ受入日数：10日間 延べ受入人数：29名

受入開始時～ 延べ受入人数：約80名

※研修生：農林水産部（森林課・耕地課）、がんセンター、東総食肉衛生検査所、柏児童相談所
 所属部署 水道局（市川水道事務所・船橋水道事務所・県水お客様センター）、君津土木事務所
 千葉北高等学校、四街道北高等学校、船橋啓明高等学校、中央児童相談所、佐原病院
 農林総合研究センター、男女共同参画センター、江戸川下水事務所、成田土木事務所
 県土整備部（河川環境課・営繕課）、環境生活部（廃棄物指導課）、市川児童相談所
 県土整備部（都市整備局 建築指導課・都市計画課）、習志野健康福祉センター
 商工労働部（経営支援課）、企業土地管理局（ニュータウン整備課）

⑦ 千葉県ユニットリーダー研修（2013年より受入開始 毎年4～5グループ（1グループ3名））

1グループ

期間：11月5日～11月9日（5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

2グループ

期間：11月19日～11月23日（5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

3グループ

期間：11月5日～11月9日（5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

4グループ

期間：11月19日～11月23日（5日間）

受入部署：小規模特養

人数：3名

補講

期間：3月14日（1日間）

受入部署：小規模特養

人数：1名

延べ受入日数：21日間 延べ受入人数：13名

受入開始時～ 延べ受入人数：約60名

※受講者施設：つつじ苑（富津市）、杜の街（大網白里町）、緑祐の郷Ⅱ（市原市）
水都苑（香取市）、第二長生共楽園ひめはる（茂原市）、まきの里（成田市）
さくら福寿園（佐倉市）、ピアポート千寿苑（千葉市）、船橋笑寿苑（船橋市）
志津ユーカリ苑（佐倉市）、プレーグ船橋（船橋市）、ゆいまーる習志野（習志野市）
アグリ・ケアホームいこいの森

※平成30年度 実習・研修・体験学習生 延べ受入総日数 200日 延べ受入総人数 80名

以上

地域の活動報告

活動名	実施主体	参加者状況及び内容
勝田台元気クラブ	勝田台地域包括支援センター	毎月1回開催。年間参加延べ数302人。内容は福祉に関する講和・認知症予防の脳トレ・機能維持のための八千代元気体操・参加者が集う歓談をプログラムに反映し実施。法人内の職員や外部の関係者（民生委員・薬剤師・リハビリ職など）の講話もお願いしている。
サンコーボカレーの会	サンクラブ老人会	サンクラブ老人会のカレーの会に参加者が減少したことで対応を検討し参加者が興味を持てるプログラムを企画。参加者30人。工夫をすることで参加者を増やせる可能性が確認でき検討していくこととなる。
勝田台ファミリーフェスタ（三世代間交流）	勝田台自治会・勝田台支会共催	三世代間交流イベントとして恒例になっており勝田台自治会・支会等の共催に参加し、救護担当として協力。また、法人として会場準備の協力やテントの貸し出しを行い、その役割も大きい。
八千代高校とクリスマスイベント	八千代高校と地域包括支援センター共催	八千代高校家政科の協力により恒例になっているクリスマスイベント企画。2日間にわたり、地域のサロンやグループホーム等に訪問し学生と高齢者の交流の機会となっている。高校では100個の手作りプレゼントを用意してくれている。
ふれあいサロン勝田台	勝田台支会	月2回開催。毎回30人を超える参加者が定着している。サロンの後方支援や情報共有しながら気になる地域の問題なども挙げてもらう機会になっている。
お番茶の会	食まちボランティア	有志が主体のおしゃべりサロン。毎回12人程度の参加者で開催されている。介護予防等の啓発を行いながら、状況を見ながら必要な支援を行っている。
八千代高校福祉授業	八千代高校	八千代高校家政科の授業を社会福祉協議会と合同で福祉に関する事業を開催した。
銀の四葉会サロン	銀の四葉会老人会	有志が積極的サロンを立ち上げ、勉強会として講和を入れている。認知症予防や体操を参加者と一緒に行い介護予防の取り組みとなっている。
八勝園誕生会	八勝園老人会	参加者20名。参加者のお誕生日会と交流を行っている。時々認知症予防と体操を実践したり情報交換の機会となっている。
ふれあい駄菓子屋	地域のボランティア有志	子供から高齢者までの参加を募りながら昔あった懐かしい駄菓子屋を開催。期間は1週間開催し後方支援として協力した。
サンコーボレコードコンサート	サテライトグリーンヒル勝田台	サンコーボ住民の有志の協力により開催。昔懐かしい曲をレコードを通して鑑賞したり仲間との交流の機会となった。準備や参加者との関係づくりなどに協力。
ユーアイやちよ勝田台オレンジカフェ	NPO法人ユーアイやちよ勝田台	認知症オレンジカフェとして毎週開催。イベントとして企画することもあり、イベント時は25人くらいの参加者が集う。そこで講話や認知症の予防として脳トレ等後方支援協力をしている。
ステーションギャラリー地域サークル展示会	サテライトグリーンヒル勝田台及び地域サークル合同企画	駅ギャラリーにて作品展示会を開催。地域のサークルの参加もあり支援協力
さるぼぼサークル	サテライトグリーンヒル勝田台	サロン系のサークルの一つ。参加者16名が定期的に集い手芸のつるし飾りを主に集う。認知症の方の参加もあり支援協力をしている。
サンコーボ便り	サンコーボ自治会	サンコーボ自治会便りに原稿を掲載の協力
認知症サポーター養成講座	ふれあい大学21期生OB	41名の参加。講義とグループワーク・寸劇を入れ認知症の理解を得るための啓発を実施。
認知症サポーター養成講座	地域ソフトボールサークル	高齢者のソフトボールサークルの仲間や知人など20名の参加。寸劇など参加型の講和を行い認知症の理解を深めた。
認知症サポーター養成講座	勝田台薬局	2つの薬局合同、10名の参加者で実施。認知症の理解を深め、認知症の方に対する対応などを共有した。